

小中学生の英語力向上  
について



大豆生田 春美 議員

**質問**… 実用英語技能検定 3 級を 1 回限り、公費負担していただくことはできないか伺いたい。

**答弁**… 文部科学省では、社会のグローバル化に対応できる生徒の語学力向上を目指し、英語教育の改革を進めています。本市は一昨年に英語教育ビジョンを策定し、義務教育 9 年間終了時の目標を英語検定 3 級程度の英語力を身につけることとしています。

さらに平成 30 年 4 月から市内全校で小中一貫教育を実施する予定であり、9 年間を見通した英語教育の充実はこの小中一貫教育の柱の一つになると考えています。このような状況から、

これからのグローバルな時代に求められているコミュニケーション能力を高める指標が必要であること、また、小中一貫教育の充実のために英語教育を充実させる

必要があることから、実用技能英語検定の活用は有効な手だてとと考えています。従って、今後子供たちのコミュニケーション能力のさらなる伸長をはかるために、受験を希望する生徒に対して検定料金を助成することを前向きに検討して参ります。

**質問**… いつから実施して頂けますか。  
**答弁**… 新年度から始めます。

一般質問



本澤 節子 議員

農業問題について

**質問**… 学校給食に地元産の無農薬有機栽培米の活用を。

**答弁**… 本市小中学校の米飯給食は週 4 回実施しており、全ての学校で大田原市産米を使用しております。学校給食に無農薬有機栽培米の活用することについては、購入元の栃木県学校給食会が米の納品を受けている J A なのすのでは、無農薬米等の取り扱いを行っておらず、個別に生産

農家から仕入れなければなりません。安定的な流通の確保や供給が困難となり高価格な無農薬米を使用することで給食費の値上がり懸念されます。放射能検査等、確実な検査を実施して

いる学校給食会からの購入で安心な給食を実施しており、無農薬有機栽培米の活用は考えていません。  
**質問**… 有機栽培促進では、県の

計画に沿って市の計画を持つよう求めている。

**答弁**… 市町村に計画を策定する定めはございません。環境保全型農業の支払い交付金利用の有機栽培の広がりを見守ります。

**質問**… 農業委員制度が変わるが現女性委員の最大活用を。  
**答弁**… 多くの方に推薦で出ていただきたい。